

那賀川の生き物博士になろう!!!

8月5日開催 なかがわ探検バスツアー

那賀川には、「阿波の八郎」という愛称があります。そこで、「八郎（86）」にちなんで、8月6日を川に親んでもらう「那賀川の日」と平成24年度に制定されました。

今年度は、令和元年8月5日（月）に、「ゆきかう那賀川推進会議」主催、「那賀川アフターフォーラム」共催による『なかがわ探検バスツアー』（以下、バスツアー）を開催しました。

バスツアーは、那賀川流域内の子ども達に那賀川流域を理解し、親んでもらうために、下流コースと上流コースを毎年交互に実施しています。今回は、下流を巡るコースを設定し、干潟にすむ生き物と海岸にすむ生き物の観察をメインに子どもたちに生き物博士になってもらえる内容で実施しました。なお、今回の参加者は、那賀町の小学生（1年生～6年生）を中心に募集し、子供8名、保護者4名の計12名の方々に参加いただきました。

ツアーの午前は、那賀川河口干潟で干潟にすむ生き物の観察会を実施しました。干潟で見られる珍しいカニの「シオマネキ」や「ハクセンシオマネキ」などの生き物を子どもたちも興味津々の様子で観察していました！



シオマネキ

ハクセンシオマネキ

お昼を食べた後、午後からは、阿南工業高等専門学校の大田直友先生が講師となって、海の生き物のクイズ大会を阿南工業高等専門学校で実施しました。「外国から来た種類の貝はどれか？」や「この卵はどの生き物ののでしょうか？」などいろいろな面白い問題がありとても盛り上がりました！

その後、北の脇海岸に行き、海の生き物の観察会を実施しました。観察会の時間帯は、潮が引いていたことから、「ムラサキウニ」や「カメノテ」など、すごくたくさんの生き物

を見つけることができました！！



カメノテ



ムラサキウニ



那賀川キャラクター「りゅうな」と集合写真

那賀川河川事務所では、今後も「那賀川の日」に開催するバスツアーなどを通して、那賀川流域の上下流交流を深めていきたいと思っております！